

令和6年度特別支援学校による幼稚園、小・中学校への地域支援の実施状況

		5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計 (のべ数)
実施回数		0	170	69	105	57					401 (回)
実施園校数		0	164	67	101	56					
実施校の内訳 (回数は年間)	1回目	0	158	56	78	37					329 (校)
	2回目	0	6	9	16	15					46 (校)
	3回目以上	0	0	2	7	4					13 (校)
訪問教員数		0	207	82	117	64					470 (人)
参加教員数		0	1002	442	656	322					2422 (人)
対象幼児児童生徒		0	208	82	125	73					488 (人)

※年間の実施園校数の累計

対象幼児児童生徒の内訳

		5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計 (のべ数)	割合
発達障害 (診断有)	LD	0	0	0	0	1					1 (人)	0.2%
	ADHD	0	14	7	11	6					38 (人)	7.8%
	高機能自閉症等	0	65	29	40	14					148 (人)	30.3%
	(小計)	0	79	36	51	21		0			187 (人)	38.3%
障害種別	知的	0	42	14	27	15					98 (人)	20.1%
	肢体	0	20	5	9	2					36 (人)	7.4%
	難聴	0	8	3	2	3					16 (人)	3.3%
	弱視	0	5	1	1	1					8 (人)	1.6%
	言語	0	3	1	1	1					6 (人)	1.2%
	病弱	0	3	1	2	1					7 (人)	1.4%
その他		0	48	21	32	29					130 (人)	26.6%
合計		0	208	82	125	73					488 (人)	

<幼稚園、小・中学校の所感>

○今行っている支援を肯定していただき、大きな安心感を得ることができました。成果がすぐに見えないため、日々不安を感じながら児童と関わっていたが、専門的な視点から肯定していただいたことで、今後の支援を、自信をもって行うことができる。

○経験豊富な先生から必要な内容をピンポイントで教えていただいたことは、とてもありがたかった。また、授業の進め方や高等部への進学を見越した指導方法なども聞くことができ、参考になった。今後は、アドバイスしていただいたことを試み、助言者の先生に再度訪問していただいたり、様子をお伝えしたりして、指導にいかしていきたい。

○児童や担任が困っていることについて、その背景や原因をとらえて支援の仕方や指導の在り方を具体的に説明していただき、大変勉強になった。すぐに実行できる支援方法も多く紹介してくださり、参加者一同それぞれの立場で理解することができた。ご指導いただいた内容については、校内教職員全体で共有して、各学級での支援に役立てていけるよう働きかけていきたいし、今後は校内研修で検討会等を取り入れていけるとよいと考えている。

<特別支援学校の所感>

○先生方が丁寧に指導にあたっている学校が多かったと感じる。事前に予定を伝えておくことや学習の目当てを提示することなど、児童生徒が見通しをもてるような工夫をすることについて、発達障害のある児童生徒への基本的な対応の仕方が広まりつつあると感じた。

○事前に児童生徒の普段の様子を尋ねることで、具体的な支援方法を検討することができた。指導検討会で話し合った内容が適正だったかを検討する機会がないため、支援方法の見直しや新たな問題が起こった場合は改めて相談をしてもらうことで連携を図るようにした。

○各校からの相談に対してできるだけ具体的に改善点を伝えられるように準備を進めた。発達障害に関する相談では、多くの学校で視覚支援を取り入れたり、パーテーションを活用したりして、発達障害の特性と基本的な指導・支援方法が広まってきていると感じた。また、二度訪問した学校では、一度目の訪問で受けた相談に対して伝えた指導・支援の方法の経過や対象児童の変容を実際に確認でき、年間に複数回訪問することは大変有意義であると感じた。